

バンディット1200 (GSF 1200) の オイル&フィルター交換マニュアル

■ 本マニュアルはバンディット1200 (GSF1200) のオイル及びオイルフィルターの交換手順を、実際に私ことろりん♪のメンテ経験に基づき、作成したものです。

本マニュアルの実践によって何らかの損害を被っても、当方では責任を負えませんので、その点をご理解頂いてお読みになられてください。

■ 本マニュアルの内容の全部または一部を、許諾なしに記事等に利用、転載をすることは固くお断りします。

※ なおマニュアルを読み進めるにあたっては基本、ナットやボルトの締め方、工具の使い方などはあらかじめ押さえておいてくださいね ^^

まず用意するもの。

【1】オイルパックリ (4ℓ以上入るものを推奨)

廃油を固めて処理できます。4.5リットルシンドウオイルパックリ4.5リットル廃油入れ



【2】オイル受け皿 (4ℓ以上入るものを推奨)

エーモン工業 [1600] オイル受け皿5L 1600 エーモン工業 [1600] オイル受け皿5L 1600 【w3】

【3】オイル約3ℓ ・ ・ オイル交換のみなら3300ml、オイルフィルター同時交換なら3500ml必要 (お好きなメーカーを)



3601-0063 MOTUL (モチュール) オイル 5100 15W50 4T BLEND 1 Gallon(ガロン=約3.8リットル) 3082GAA ○

【4】 **オイルフィルター** (オイル交換 2 回に一度の割合で交換する)
オイルフィルターはバイクの型式に合わせて、決めること。
ちなみに値段が高い程、性能が良いと判断していいです。
でもまあ安い物でも十分機能は果たします。大抵の場合O リング付きなので、別途O リングを購入する必要はないと思います。

【5】 **ドレンプラグ、ワッシャー**・・・これはバイクショップで純正品を手に入れるのが一番安いです。
パーツリストがあるならそれを見て、注文することもできます。
大体ワンセットで100円するかしないかです。



あと、再利用はあまり推奨しません・・・ワッシャーを外すのが大変なので^^;
ちなみにこれって250ccや400ccのタイプと同じサイズのように思われ、もしかしたら代用が利くかもしれません。

なおマグネットタイプのドレンプラグもありますが、その場合だとワッシャーは平たいタイプのものなので、再利用できるかも・・・と思います。

【6】 **工具 (スパナ、レンチ等)** オイルフィルター用の工具は車載工具には標準では備わってないようです。なのでオイルフィルターのサイズに合う**フィルターレンチ**が必要です。



あと、ドレンプラグ用は17mmのメガネレンチかボックスレンチが使いやすいですね。

【7】 ウェス（ぼろ布）

【8】 作業用の軍手、ビニール手袋等

【9】 パーツクリーナー（脱脂スプレー等）

さぁこれらの準備が整ったら、いよいよ交換です♪

< 作業手順 >

（1）まずセンタースタンドがあれば、スタンドをかける。
できればエンジンを3分位かけてあげて、オイルを柔らかくしておいたほうが良いと思います。次にオイル給油口の栓を外す。

これらの作業はオイルが抜けやすくするためにする行程です。



次にドレンプラグを外しますが、左周りが外す方向なので、間違えないように！あ、もちろん下から覗いて左周りですからね^^;

ある程度ゆるめたら下にオイル受け皿を置いてから取り外します。
オイルが一気に流れ出てくるので、目や皮膚にかからないように注意すること！

(2) ある程度抜けたら、今度は軽くエンジンを始動してアクセルを数回程度回し、中のオイルをできるだけかきだしてあげる。これはやりすぎない程度にする（やっても20秒くらい）。ちなみにサイドスタンドの場合、バイクが傾いた状態なので左右に傾けながらやると、残りのオイルが出やすいですね。

(3) オイルが抜けきったらその後、新しいドレンプラグにワッシャーを取付けて、手できつくなるまで締めていきます。そしてレンチで締めつける前に、ドレンプラグ周辺に付着したオイルはウェスできれいにふきあげておきます。これはプラグを締めつける際に、きちんと必要なトルクがかかるようにするためです。

最後にレンチで締める時は締め付けトルクに注意すること！これは何回かやるとわかるのですが、あまり無理やり締めつけるとナットがなめてしまったり、締めすぎると次回交換時に外れなくなる場合があるので要注意です。まあトルクレンチを使うっていう手もありはしますがねえ～あまり気乗りはしまへんけど^^;

あたくしめの場合、長さ22.5cm（両端の穴の中心間の距離）のメガネレンチで、プラグに付けたガスケットがつぶれるまで締めていくと、明らかにそこから感触がきつくなる感じがわかるので、そこから軽くクイッと締めて終わりです。

そんなあたくしめにも過去に締め付け過ぎて外せずに、ショップに持ち込んだ経験がありますのです（笑）下手するとオイルパンごと交換しないといけないはめになりますので、たんまり出費がかさむ最悪の事態になっちゃいますよ～^^;

(4) 無事締めつけたら、新しいオイルを規定量入れていきましょう。最後に給油口の栓を閉めた後軽くエンジンをかけて、下からオイル漏れがしていないか確認すること。

(5) 最後に使用済みオイルをオイルパックリに入れて、漏れないようにちゃんと結んだら終了です♪あと使用済みのオイルはお住まいの地域の処理の仕方に従いましょう。



< オイルフィルターの交換手順 >

(6) この作業は上記の (2) と (3) の作業間で行うこと。

フィルターレンチでフィルターカートリッジ本体を取り外します。この時、中のオイルが漏れてきますので、オイル受け皿を下に準備しておいてください。



オイルが抜けきったら、新しいオイルフィルター内部のOリングの表面に軽くオイルを塗り付けて、車体に手できつくなるまではめ込みます。

あとはフィルターレンチで規定のトルクで締め込むのですが、目安としてはフィルターのOリングが車体本体の方に接してから、さらに約1回転半締めると程よいと思います。



締めつけたら最終確認のためにエンジンをかけ、オイル漏れがしていないかチェックします。オイルがにじみ出てくるようなら締め付けが足りないということですので、少しずつ〜つ締めなおしましょう。

それが終わったら オイルフィルター周辺とエキパイに付着したオイルをパーツクリーナー等でしっかりと脱脂します。これはしっかりと行っておくこと。

・ ・ 以上で一通りの説明を終わります。

なお、分かりやすく説明したつもりですが、これを読んでどうしても手順が理解できかねる方は、諦めてショップに依頼することをおすすめします。。。

By ころりん♪